

■フランス：アヴェイロン県に水素ステーションを建設へ

2016年2月24日付フランス経済紙の報道によると、フランスの廃棄物処理企業 **Braley** は、フランスの南部アヴェイロン県ロデズ郡近郊のオネルシャトーで、水素ステーションを建設する。同社は、フランス大手エネルギー事業者の **EDF**、水素製造を行う **Areva H2Gen**、欧州のエネルギーに関する研究機関の **Eifer** らと共同でプロジェクトを立ち上げ、これが欧州の公募プロジェクトに選定された。プロジェクト予算である 350 万ユーロのうち、160 万ユーロが EU、地方圏議会およびフランス政府の補助金により賄われる。運開は 1 年後となる予定。同水素ステーションでは、**Areva H2Gen** が設計した **PEM**（固体高分子電解質膜）型エレクトロライザー（水電解装置）を用いて水の電気分解を行い、水素を製造する。電気分解には、夜間に余剰となる安価な電力が使用される。一日に 145kg の水素が製造され、ロデズ郡に配置される 80 台の燃料電池搭載車両の燃料として供給される予定となっている。